シンポジウムのご案内

森林と海

:連鎖への回帰

瀬戸内海研究フォーラム in わかやま

紀伊半島最大の資源として森林は、水質の調整、 土砂生産の制御、有機物の生産・維持に伴う大気 中の炭酸ガス濃度の制御など、様々な機能が期待 されています。さらに森林域と海域を接続する河 川流域は豊富な歴史文化を内在しています。こう した森林での適正な水及び物質循環は、河川流域 や海洋環境の保全に重要な役割を果たしています。

平成14年度「瀬戸内海研究フォーラムinわかやま」では、森林と海を中心課題として、物質循環、リモートセンシングや熊野古道の歴史文化など踏まえて、環境保全に果たす森林と海の関係を論じたいと考えております。また、ポスター発表の場も設けておりますので、森・川・海に関心のある方のご参加をお待ちしています。











和歌山県新宮町神倉神社

写真提供:和歌山県教育庁

日時 | 平成 14 年 8 月 29 日 (木) ~ 30 日 (金) 13:00~18:30 9:30~16:00

会場

アバローム紀の国「孔雀」(3階) 和歌山市湊町通丁北2-1-2 In 073-436-1200

参加料無料 (懇親会のみ 5,000 円)

詳しくは裏面を御覧ください

主催:瀬戸内海研究会議

協賛:瀬戸内海環境保全知事・市長会議

(社) 瀬戸内海環境保全協会

後援: TAO (通信放送機構),

環境省,和歌山県,和歌山市 和歌山大学システム工学部 (財)国際エメックスセンター

プログラム

8月29日(木)

開会 13:00 ~ 13:20

第1セッション 13:20 ~ 15:20 和歌山の海の生態系を支える陸からと海からの栄養供給

座長:川井浩史(神戸大学内海域機能教育研究センター教授)

「海の栄養、陸の栄養」

笠井亮秀 (京都大学大学院農学研究科)

「紀伊水道の底層冷水環境と生物生産の特徴」

竹内淳一(和歌山県水産試験場)

「森と海をつなぐ川の役割-魚の目からみたヒト、生きもの、

栄養の行き来 紀ノ川を事例に-」

平嶋健太郎 (和歌山県自然史博物館)

「海藻と海草-豊かな海の森を作るものたち-」

川井浩史(神戸大学内海域機能教育研究センター)

第2セッション 15:30 ~ 17:30 リモートセンシングの利用と海域生態系

座長:原島 省((独)国立環境研究所海洋環境研究室長)

「瀬戸内海における人工衛星海色画像の利用-現状と課題」

橋本俊也 (広島大学生物生産学部)

「串本沿岸域サンゴ礁のリモートセンシング」 宮崎忠国(山梨県環境科学研究所)

「鯨生態観測衛星プロジェクト(観太君)について」

林 友直 (千葉工業大学研究所)

「陸と海の相互作用をどう測ってゆくか?」

原島省((独)国立環境研究所)

ポスター発表 17:30~18:30 * 常時展示しています. テーマ:森・川・海

瀬戸内海研究会議総会 17:35 ~ 18:20

■ 懇親会 18:30 ~ 20:00

鳳凰の間(2階)参加料:5,000円

参加申込方法

8月5日 (月) までに、氏名・所属・住所・電話番号を明記の上、Eメール・ FAX・郵送にて、以下の宛て先にお申し込みください。

(お申込・お問い合わせ先)

〒 651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1

国際健康開発センター3階 (社)瀬戸内海環境保全協会内

瀬戸内海研究会議事務局

TEL: 078-241-7720 FAX: 078-241-7730

E-mail: web@seto.or.jp

8月30日(金)

第3セッション 9:30~11:30 海からみた熊野一紀伊半島の歴史・文化一

座長:神吉紀世子(和歌山大学システム工学部助教授)

「巡礼からみる熊野の海と山」

田中智彦(岐阜聖徳学園大学教育学部)

「海から見た熊野の信仰と暮らし」

山本殖生 (新宮市教育委員会文化振興室)

第4セッション 13:00~15:30 パネルディスカッション:森林と海

座長:平田健正(和歌山大学システム工学部教授)

「陸と海の栄養塩環境」

乗木新一郎(北海道大学大学院地球環境科学研究科)

「インターネットを用いた森林の健康診断」

中島敦司(和歌山大学システム工学部)

「森-川-海,水でつながった地域社会」

澤野 誠(和歌山県農林水産部緑の雇用推進局)

「森と海とヒトをつなぐ仕掛けと市民運動」

重栖 隆(和歌山環境ネットワーク)

■ 閉会・ポスター賞発表 15:30 ~ 16:00

会場までのアクセス



参加申込書

森林と海:連鎖への回帰

瀬戸内海研究フォーラム in わかやま 氏 名

所 属

住 所

TEL

FAX